

## 日野町立日野小学校

## 活動テーマ ふるさと学習

## ～日野を学び 日野で学び 日野から学ぶ～

## 実践事例について

日野町では、「日野を学び、日野で学び、日野から学ぶ」を合言葉に、ふるさと日野のよさを生かした学習の推進に力をいれている。

日野小学校では、今年度新たに地域の自然環境である「日野川」と「学林」の教材化を行ない、「花いっぱい学校」づくりとして「FBC コンクール」にも初挑戦した。また地域の豊富な人材を活用しながら、特色ある体験活動を各学年に応じて展開している。

これらの活動を通して、地域を知り、ふるさと日野への愛着と誇りを持てる子どもの育成をめざしている。

MLGS大使の出身校でもある本校では、今年度学校としてMLGSへの賛同を行った。今後も地域との連携を深めながら、全教職員がカリキュラム・マネジメントの視点を持ち、ふるさと日野のよさを生かした探求的な学びを創造していきたいとの思いから、「エコ・スクール」にも初登録した。

## 1 学校紹介

豊かな自然と伝統ある文化・歴史の町で、町の中心部にある。近江日野商人の町として栄え、蒲生氏の城下町であった。地域の山である綿向山を源流とする日野川が流れている。校区の一つである鎌掛地区は、日野菜の原産地であり、毎月17日は「ひのなちゃんの日」として、日野菜のメニューが給食に出されている。



## 2 委員会活動

## ○1年を通しての花づくり

サルビア、マリーゴールド、パンジーなどの栽培をした。今年度は「花いっぱい学校」作りのための活動を開始することができ、中庭にできた新しい花壇で、地域の方とともに、花壇に花苗を植える活動に取り組むことができた。FBC コンクールに向けた取り組みとして、花壇のイメージを委員会活動として考え、花植えを行った。花植えは地域の方と子ども達が共同して実施できた。

## ○グラウンドや校庭、学級園、農園、学林の環境整備

定期的に「ゴミ0の日」を設定し、全校児童による除草作業を行った。特に、7月は「琵琶湖の日」と関連付けて取り組み、環境意識を高めることができた。

また、PTAによる環境整備作業を行った。5・8月に校庭の除草作業、11月に学校林の下草刈りの整備作業を2回実施した。コロナ禍においても活動内容を工夫し、児童が安心してスムーズに学習に取り組める美しい環境を整えることができた。

## 3 各学年の栽培活動

## ○学級園、農園での栽培活動

・学年ごとに様々な花や野菜を栽培した。栽培、観察、収穫、調理などの活動を通して、自然に親しむことができた。また、収穫の喜びを味わうことができた。

・1年生では、サツマイモの苗を植えた。収穫の際には、農業委員さんに来ていただいた。また、収穫したサツマイモを焼くときには朝早くからお手伝いいただき、子どもたちは収穫する喜びと、味わう嬉しさを学んだ。

・2年生では、農業委員さん・農林課さんに来ていただき、野菜の苗植えや収穫を行った。夏野菜や玉ねぎを植えるときには、植え方を教えていただいた。夏野菜は各自が選んだ野菜をたくさん収穫することで、収穫する喜びを感じ、採りたての新鮮な野菜の味を知ることができた。

・3年生では、総合的な学習として、日野菜学習を行った。種まきでは、地域の農家の方やJAの方からコツを学びながら行うことができた。

学習を通して、疑問に思ったことをまとめ、学習発表会を開催し、お世話になった農家やJAの方にもその様子を参観していただいた。

《1年》あさがお・チューリップ・さつまいも・大根

《2年》キュウリ・ミニトマト・なす・ピーマン

・玉ねぎ・さつまいも

《3年》日野菜

《4年》へちま、ひょうたん

《5年》米・インゲン

《6年》ジャガイモ

《支援学級》きゅうり・なす・ピーマン・ししとう

・ミニトマト・とうもろこし・オクラ・さつまいも

#### 4 日野川環境学習 & 森林環境学習

4年生の総合的な学習において、地域の自然環境である「日野川」と119年の歴史のある「学林」を活用した学習の教材化を行い、学習活動を行った。

##### 【日野川探検隊】

「豊かな川」ってどんな川～身近な水環境調査～

学習題材との出会いにおいては、イメージマップで「豊かな川」について交流し、環境省「5つのものさし」とイメージマップを関係づけながら、現地調査の準備をした。

その後、4回にわたって現地調査を行った。

- ・野田川
- ・出雲川(河原運動公園付近)
- ・日野川(寺尻付近)
- ・日野川バスツアー(河口から上流まで)  
第1段揚水機場～蒲生頭首工～綿向山御幸橋  
(西明寺川)

これらの現地調査では、地域のNPO法人「蒲生野考現倶楽部」の方に講師としてお世話になりながら、児童は身近な川に目を向けながら学習を深めていった。日野川バスツアーにおいては、「日野川エコスクール」の流域校として、バスの補助をいただいたり、日野川土地改良区の方に施設案内などをしていただいたりした。調査活動で分かったことや気付いたことをもとに、児童個々の課題を決定した。出てきた課題はプランクトン、川の地形、外来種、地域とのかかわりなどについてである。それらの課題探求学習で学んだことをパワーポイントにまとめ、発表し合うことで、学びの交流をした。

##### 主な子どもたちの感想

- ・現地調査で川によって住んでいる生き物がちがうことがわかった。
- ・川の水がきたないと生き物はいないと思っていたけど、逆にきれいすぎると生き物が少ないことにおどろいた。
- ・田んぼなどの農業にも川の水が必要なことを初めて知った。
- ・日野川に住む外来種について調べて、用水路や池など見た目はきたないところもブラックバスにとっては過ごしやすいくところだということがわかった。
- ・日野川にはいろいろな生き物がいることがわかった。池などきたないようなところもタイコウチにとってはとても

過ごしやすいくことや、サワガニはきれいな川に住んでいることなど、生き物によって過ごしやすいく環境が違うことがわかった。どちらの川もこれから大切にしていきたいと思った。

・日野川の水を使って近江米というお米が作られていることを初めて知った。日野川の下流から上流を見学に行った学習で、びわ湖から日野町までポンプで水を送っていることを教えてもらい、びわ湖の水を使った特別なお米を作っているのだと思った。また、田んぼの仕事をしている人にとって川の水はなくてはならない大切なものだと感じた。

・日野川の調査をして、昔の人の川の利用のしかたを調べてみようと思いました。今では便利な水道があるのであまり川を利用することはなくなりましたが、昔は水道がなくて、野菜を洗ったり洗濯をしたりするのも川に行っていることがわかって、人々の生活にとって川がとても大切なものだということがわかりました。



##### 【やまのこ事後学習 学林探検学習】

高取山にて「やまのこ学習」を実施した事後学習として、学年全員で学林に行き、森林の植物観察や森林探検を行った。「綿向生産森林組合」の方や、地域の歴史や森林環境に詳しい方に現地ガイドをしていただき、間伐等の山仕事の見学や、森林ウォークラリーを行うことができた。



学校名	日野町立日野小学校
住所	日野町大窪331番地
電話番号	0748-52-0073
E-mail	<a href="mailto:hinosho-shoku@rmc.ne.jp">hinosho-shoku@rmc.ne.jp</a>